

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長 大城 義人

2021年4月予防医学センター長を拝命し、5年目を迎えます。掲げられてきた「受診者の視点にたった人間ドック健診」（「受診者目線のドック健診」）という基本理念を継続し、受診した皆様が、ご自身の心身について「安心」と「勇気」そして「満足」を少しでも得られるように努力しております。

予防医学センターは、お一人でも多くの地域の皆様に人間ドック健診を受けて頂き、病気をできるだけ早期に発見し早期治療につなげられるよう、また、心臓病・脳卒中・心不全・血管疾患・腎臓病・代謝異常等の発症を予防し、生活習慣病を抱える方々が安心して日常生活を送り、健康長寿が実現できるようお手伝いさせていただく場を目指しております。受診者目線で個々人の現実の日常生活にできるだけ即した対策を実行できるよう考え方提案し、心身両面においてサポートできるよう心がけております。

当センターは、人間ドック健診専門医・指導医、看護師・保健師・放射線技師・臨床検査技師・医療クラーク・事務の各職員が、皆で一体となりチーム医療を実践していこうという場所です。そして消化器内科や産婦人科・放射線科・脳神経外科・循環器内科・眼科の各科専門医・スタッフの直接参画のプラットホームとなり献身的なご協力を得ながら、受診後は指摘された異常に放置する事なく勇気を持って受診できるよう、当院診療科や近隣他施設とネットワークを作って繋がり、専門医・コメディカルスタッフの支援・連携をさらに強化してきました。

私たちの施設は、2015年に人間ドック健診専門医研修施設認定、2018年12月本館8階ワンフロア全体が人間ドック健診専用となり、2021年には人間ドック健診施設機能評価において優秀賞を受賞、年間総受診者数は、2024年度現在18,522名を数えます。

検査内容・検査項目として、内視鏡検査より先に腹部エコーを行うという従来の順序固定を排すべく、上部消化管内視鏡検査への炭酸ガス送気法の導入や、下部消化管内視鏡検査の前処置・検査完遂困難な方へ次善策として、大腸CT検査の本格導入を行いました。また、便潜血検査は至急検査として結果が出ますが、陽性者には当日健康相談の場で精密検査受診するよう支援し、即日紹介状（「ご高診願い」）を手交しきっちり受診勧奨を行っています。2024年9月には、当院で乳腺外科センターが新たに開設され、経験豊富で著名な先生が入職されるとともに同センターのコメディカルスタッフの充実が図られました。これに伴い当センターも乳癌検診受診者のさらなる便宜を図るべく、先生のご厚意により積極的に連携・情報共有できる様になっております。さらに、2025年度から慢性腎臓病への早期介入を目的に簡便な腎機能のオプション検査を設けました（名称「腎機能チェックプラス」）。最終的には、透析導入者の減少に少しでも貢献できれば、と考えております。

コロナ禍によって受診者数減少や二次検診受診数低下を招いた事も記憶に新しく、コロナ禍に加えて世界情勢変化の余波も影響し受診者の皆様にはご不便をおかけしましたが、今後とも、築かれた信用を維持しさらには向上していくよう謙虚に日々励んでいきたいと思います。

今後とも受診者目線の勇気と安心・満足の予防医学センターを目指し、一致団結して日々真摯に取り組んでいきたいと存じます。

施設認定

- ・日本人間ドック・予防医療学会健診施設機能評価認定
- ・全日本病院学会人間ドック実施施設認定
- ・特定健診・特定保健指導機関認定

職員数

総数

54名

職種別

医 師	10名	臨床検査技師	2名
保 健 師	6名	一般事務	13名
看 護 師	13名	クラーク	9名
管理栄養士	1名		

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
予防医学センター長	大城 義人	総合内科、循環器内科	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医 日本人間ドック学会人間ドック健診指導医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定健康スポーツ医 医学博士
予防医学センター副センター長	宮里 稔	東洋医学、消化器内科(内視鏡検査)	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医 日本内科学会認定内科医
常勤	大城 志乃	内科	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医 日本人間ドック学会人間ドック健診指導医 日本医師会認定産業医 日本人間ドック学会認定医 日本内科学会認定内科医 検診マンモグラフィ読影認定医
常勤	川田 晃世	消化器内科	日本内科学会認定内科医 日本人間ドック学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本医師会認定産業医 医学博士 日本消化器がん検診学会総合認定医
常勤	川満 美和	消化器内科	日本消化器内視鏡学会専門医
非常勤	奥島 しょう子		日本人間ドック学会人間ドック健診専門医 日本人間ドック学会人間ドック健診指導医 日本医師会認定産業医
非常勤	金城 詩子		日本内科学会認定内科医
非常勤	松元 真紀子		
非常勤	楚南 いづみ		日本内科学会認定内科医 日本人間ドック学会人間ドック健診専門医
非常勤	謝花 隆光	消化器内科	日本内科学会認定内科医 日本人間ドック学会人間ドック健診専門医

認定・資格

氏名	名称
安次富 道代	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー） ITパスポート
桃原 勝美	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
吳屋 みなみ	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
友寄 一乃	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
又吉 美鈴	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
山内 敦子	腎臓病療養指導士 腎代替療法専門指導士
宮城 さおり	第1種衛生管理者免許

予防医学センター 理念

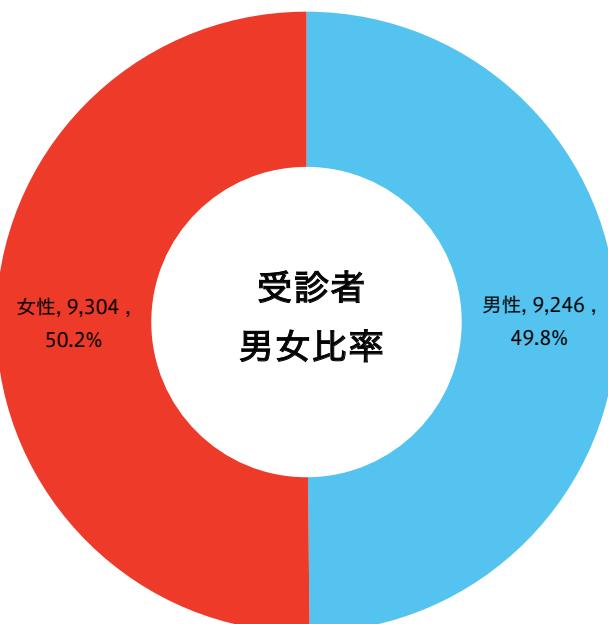
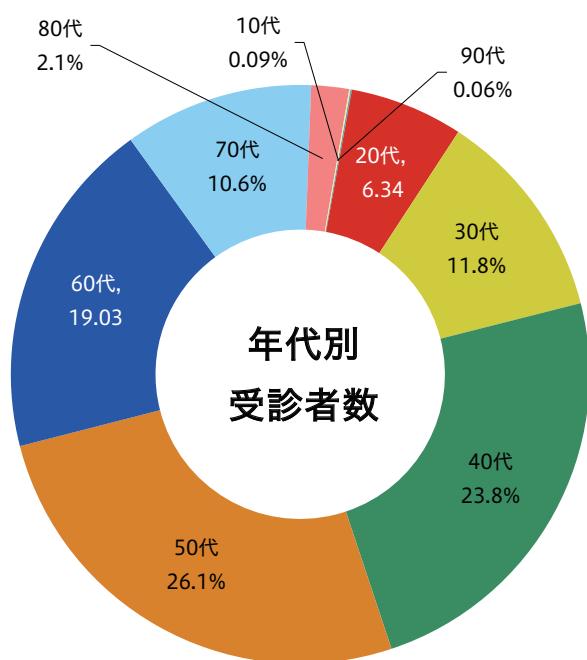
- 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
- 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
- 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
- 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

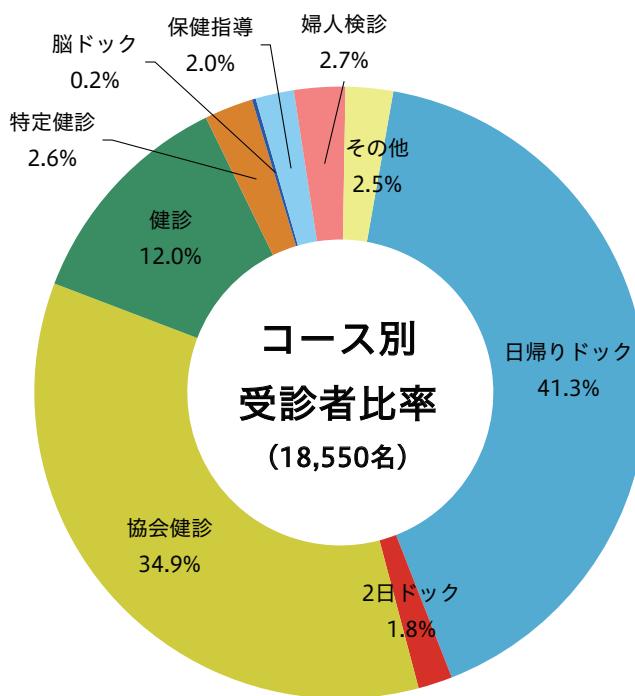
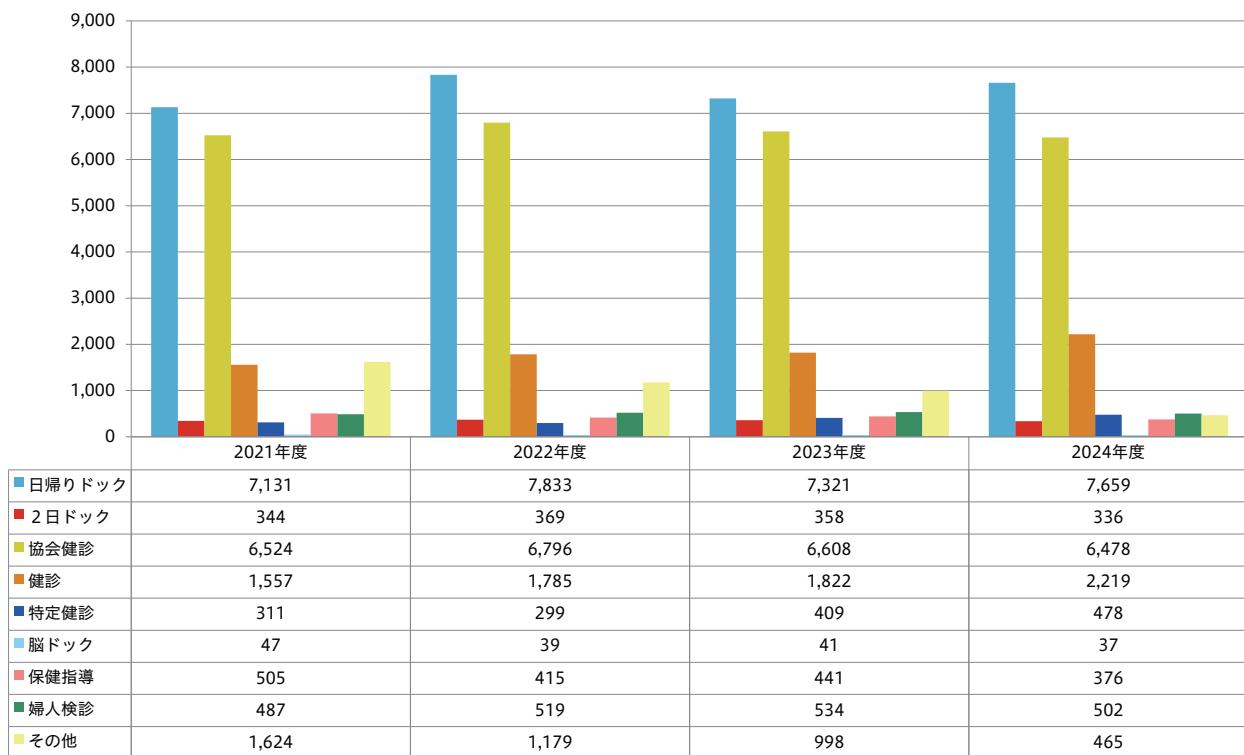
予防医学センター 運営方針

私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします

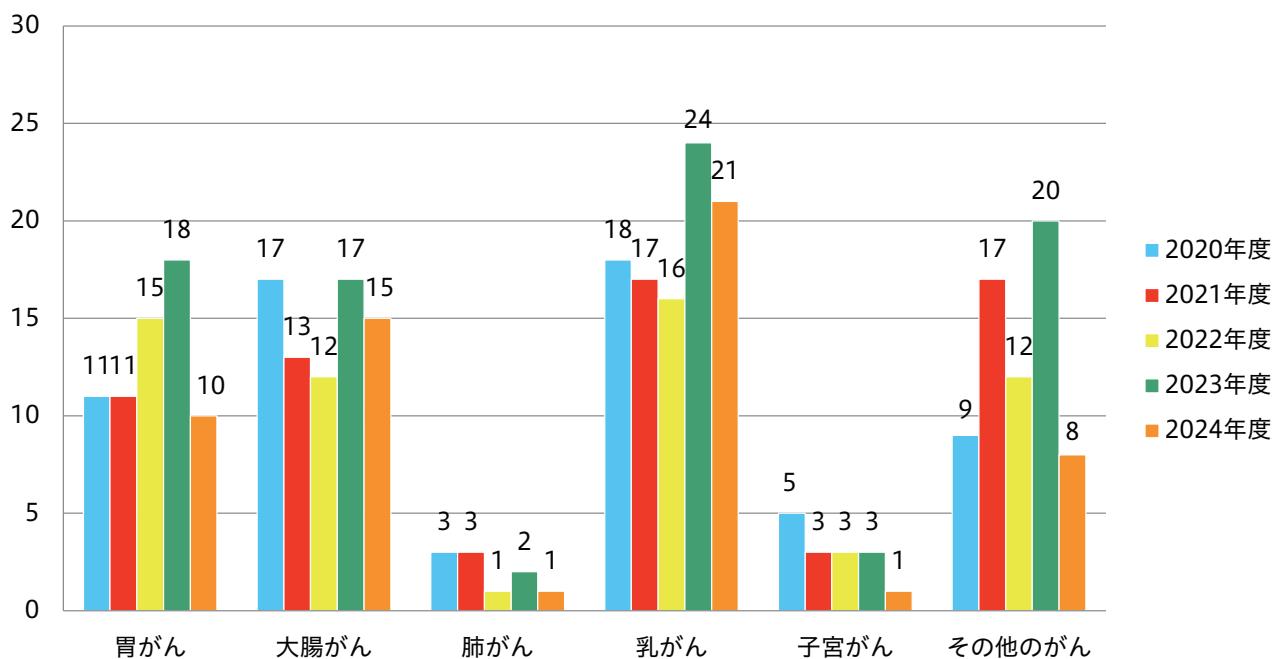
2024年度 ドック・健診の実績

コース別受診者数の推移





悪性腫瘍発見数



活動実績

学会発表

研修名	主催	日時	参加者
人間ドック学会演題発表 (パシフィコ横浜)	人間ドック学会	2024年9月5日～同年9月6日	山里 尚子・山内 敦子

院外研修

研修名	主催	日時	参加者
沖縄県保健師助産師実習指導者研修	看護協会	2024年8月6日～同年9月27日	又吉 美鈴
沖縄県看護協会通常総会	看護協会	2024年6月5日	高宮 江利子
沖縄県看護連盟通常総会	看護連盟	2024年7月13日	高宮 江利子・桃原 勝美・与那城 友子
ポリナビワークショップイン沖縄	看護連盟	2024年7月27日	安次富 道代
沖縄県国保ヘルスアップ支援事業重症化予防発症へ向けた保健指導栄養指導研修会	沖縄県国民健康保険団体連合 (Web開催)	2024年7月26日	山内 敦子
特定保健指導者担当者会議		2024年7月4日	桃原 勝美
ミッションマネジメントと組織開発～対話に基づく開発～	看護協会	2024年9月21日	高宮 江利子
宜野湾市特定保健指導者担当者会議	宜野湾市 (Web開催)	2024年10月4日	吳屋 みなみ
沖縄県看護連盟リーダー研修会 (リーダーの役割と実践活動を培う)	看護連盟	2024年11月7日	桃原 勝美
リーダーシップ研修～プロフェッショナルマネージャーをめざす	看護連盟	2025年1月28日	吳屋 みなみ
医療現場に於ける苦情と倫理的問題への対応	看護協会	2025年1月31日	桃原 勝美

院内研修

研修名	主催	日時	参加者
中堅研修	看護部	2024年5月～同年12月	川満由美
最後の時をどう考えるか～急性期病院での医師決定支援ACP導入～	臨床倫理委員会	2024年9月30日	高宮江利子
メランコリーと精神免疫学	緩和ケア委員会(菅野医師)	2024年9月30日	高宮江利子
乳がんの疫学と乳がん患者の病棟管理	乳腺外科(柏葉医師)	2024年10月4日	高宮江利子
現場で使える数え方	北原医師	2025年2月26日	高宮江利子・友寄一乃
保険診療に関する講演会その①	施設基準検討委員会	2025年3月6日	e-ラーニング
保険診療に関する講演会その②	施設基準検討委員会	2025年3月6日	e-ラーニング
個人情報保護について	個人情報保護委員会	2025年3月24日	e-ラーニング
職場におけるハラスメント対策[カスタマーハラスメント対策]	医療安全管理室	2025年3月25日	e-ラーニング

部署内研修

研修名	日時	参加者
県学会予演会	2024年4月	18名
頸動脈標準的評価法	2024年5月	19名
透析シャントエコーについて	2024年6月	2名
乳腺エコー(DVD)	2024年7月	2名
超音波症例検討会(大動脈弁口面積測定)	2024年8月	24名
2024年度医療安全講習会(eラーニング)	2024年8月	24名
CTC(検査手順・前処置について)	2024年8月	18名
感染①	2024年9月	24名
肺機能検査(DLCO)	2024年9月	2名
2024年度感染対策講習会(eラーニング)	2024年10月	
ABRについて	2024年10月	2名
BLS講習会(eラーニング)	2024年11月	
乳腺エコー(エラストグラフィー)	2024年11月	2名
実習指導者研修後の伝達講習	2024年11月	19名
感染②	2024年11月	24名
超音波症例検討会(脾癌)	2024年12月	2名
リーダーシップ研修	2025年1月	6名
腎動脈病変の評価法	2025年1月	2名
2024年度感染対策講習会(eラーニング)	2025年1月	
CTC(伝達講習)	2025年2月	4名
遺伝子検査講習会(eラーニング)	2025年3月	
2024年度保険診療(eラーニング)	2025年3月	
個人情報保護法(eラーニング)	2025年3月	
医療安全講習会 カスタマーハラスメント対策(eラーニング)	2025年3月	
超音波症例検討会(下腹部膨満感)	2025年3月	2名
ABI検査の解釈	2025年3月	2名
個人情報の適切な取り扱い方 学研ナーシングスキル(eラーニング)		
守秘義務・個人情報保護の基礎知識 学研ナーシングスキル(eラーニング)		

予防医学センター 年度総括

2020年以降、コロナ禍や国際情勢悪化により、私達の日常生活が大きく影響を受ける中、当院職員の皆様が医療を維持・向上させるべく弛まぬ努力を続けておられることは、非常に賞賛されるべきことと深く敬服致します。

2024年度の予防医学センターも、これまで同様できるだけ多くの方に人間ドック健診を受けていただけるよう取り組みました。受診者数は、21年度18,537名、22年度は19,234名、23年度は18,534名と推移し、今回2024年度は18,522名を数えました。当センターを受診した皆様が「安心と満足」を少しでも感じて頂けるように、内視鏡センターをはじめ、臨床検査部、放射線部、産婦人科、脳神経外科等の関係部署と共に連携協力して業務に取り組んでいます。関係各部署の皆様には変わらぬ「安心と満足」の人間ドック健診を素々と実施し、受診者の期待にしっかりと応えようという真摯な姿勢のおかげだと深謝申し上げます。

2021年度より内視鏡センターの全面的協力によって炭酸ガス送気法上部消化管内視鏡検査を導入、2022年より全受診者に実施継続しております。これにより、空気送気法と比べ胃腸管ガス貯留時間が短縮され、先に内視鏡検査を実施後行うと観察困難であった腹部エコー画像の画質向上に繋がり、内視鏡とエコー検査の施行順序を固定する必要がなくなりました。さらには、内視鏡検査後の腹部症状軽減や、受診者の検査待ち時間短縮にも寄与しています。

他方、新規のオプション検査として導入した大腸CT検査が本格稼働し、大腸カメラ検査の忍容性に問題のあったケースにも対応できるようになりました。メリットデメリットをしっかり説明した上でご案内しており、検査の適正化に努めています。また、2021年導入の心エコーは依然として希望者が多く潜在的ニーズにお応えできているのではないかと考えます。

沖縄県は、依然として検診受診率の低迷が指摘されておりますが、沖縄県医師会の牽引指導もあって徐々に増加に転じていると見られます。一方では、事後の二次検診受診率がまだ低いことも改善すべき点であるといわれています。せっかく異常を発見できたのに看過されてしまい、コロナ禍によってさらにこれに拍車がかかりました。当センターでは、2021年「人間ドック健診施設機能評価審査」において、受診当日に保健師による対面健康相談を実施している実績が評価され「優秀賞」を受賞しました。24年度もこれまで同様、心臓血管・代謝・腎臓病発症再発進展予防策として、ドック健診の場で、生活習慣の行動変容が現実的に実行可能となるよう提案します。また、便潜血検査は当日検査結果が出て、陽性者には当日健康相談の場で精密検査受診するよう支援し、即日紹介状（「ご高診願い」）を手交し、二次検診増加に貢献していると思われます。

2024年9月、当院で乳腺外科センターが新たに開設され、その連携体制を強化するため、柏葉先生のご厚意により、乳腺臨床現場のスタッフの皆様より直接御指導いただいております。健診ドックとしてさらにスキルアップできるよう鋭意努力する所存です。また、かかりつけ医師の皆様の日常診療に直結した役割を担えるよう貢献したいと存じます。その継続のために、予防医学センター関連各部署の横断的協働（顔の見える繋がり）で受診者の立場（受診者目線）に立ったチーム医療を継続して行く事ができればと存じます。改めまして、関係各位の皆様のご協力に感謝申し上げます。

予防医学センター長 大城 義人